

2023 年度 大学院入試（英語学専攻）

博士課程（前期）

専門科目 英語学

【合否判定の方法】

《外国語科目》《専門科目》《面接》

提出書類および外国語試験、専門科目、面接の成績を総合的に評価し、合否を判定する。

【合否判定の基準】

提出書類および各試験の結果を総合的に評価し、研究計画の妥当性および博士課程前期課程における研究遂行能力を有しているかを判断する。

1 試験日 2023 年 2 月 17 日

2 科目 (100 点満点)

3 出題意図

本試験は、英語学・言語学の基礎知識と理論的理解、ならびに言語データの分析能力を総合的に評価することを目的とする。第 1 問では、音韻論・統語論・形態論・歴史言語学に関する基本用語について、正確な定義と簡潔な説明ができるかを問う。第 2 問では、言語が規則に支配される体系であるという前提の理解に加え、規範文法と記述文法の相違を具体例に基づいて説明する力を評価する。第 3 問では、生成文法の基本概念を踏まえ、多義性や深層構造と表層構造の違いを構造的に分析し説明する能力を問う。以上を通じて、基礎知識の理解にとどまらず、理論と具体例を結びつけて論理的に記述する力を測ることを意図している。

以上

2019 年度 大学院入試（英語学専攻）
博士課程（後期）

【合否判定の方法】

《外国語科目》《専門科目》《面接》

提出書類および外国語試験、専門科目、面接の成績を総合的に評価し、合否を判定する。

【合否判定の基準】

提出書類および各試験の結果を総合的に評価し、研究計画の妥当性および博士課程後期課程における研究遂行能力を有しているかを判断する。

1 試験日 2019 年●月●日

2 科目 (100 点満点)

3 出題意図

本問題は、英語学・言語学の主要領域に関する理論的理解とその運用能力、さらに研究者としての思考力を総合的に評価することを目的として作成されたものである。第 1 問では、生成文法とコーパス言語学という異なる立場の対比を通して、言語研究におけるデータ観および方法論の違いを的確に把握し、論理的に説明する力を問う。第 2 問では、語の動機づけに関する意味論的概念を理解した上で、それらを具体例として適切に提示できるかを測り、概念の運用力と分類の精度を評価する。第 3 問では、top-down と bottom-up という研究方法論の違いを具体例とともに説明させるとともに、自身の研究計画に即して適切な方法を選択し、その妥当性を論証する力を問う。これらを通じて、専門的知識の理解にとどまらず、それを基盤とした分析力・応用力・研究遂行能力を多面的に評価することを意図している。

以